行事報告書(自主活動)

報告者:　仲谷貞夫

行 事 名	甲山探鳥会10月会
実施日時	2024年10月31日(木曜日) 9:00～12:00　　天候: 晴時々曇り　　気温 25℃
場 所	夙川沿い (夙川駅から御前浜まで)
参加人員	16名　(内訳 MNC 10名 、 一般参加 6名)
参加者	MNC　今西、太田(由)、木村(俊)、沼田、吉田、池田、三仲、森本(和)、森永(啓)、仲谷 一般参加　遠藤、大西、曳野、山田(逸)、山下、清水　(敬称略)
観察鳥	鳥数　28 種 マガモ、カルガモ、ヒドリガモ、キジバト、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、コサギ、バン、ユリカモメ、ウミネコ、セグロカモメ、ミサゴ、カワセミ、コゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ
観察概要	参加者感想 今日は 6 月以来、久々の探鳥会になりました。曇り空でしたがちょうど良い気候でこの時期にしては様々な鳥を見ることが出来ました。夙川の片鉾池では定番のアオサギやゴイサギ、コサギが見られ、メジロやコゲラ、冬鳥のジョウビタキがにぎやかに飛び交っていました。川を下るにつれてキセキレイやハクセキレイ、セグロセキレイが見られ、河口近くでは冬鳥のマガモやヒドリガモ、ユリカモメの群れがいました。ユリカモメの足は若鳥の内は黄色っぽい色ですが年を取るにしたがって濃いオレンジ色になるそうです。解散後に駅まで歩く道で見たかったエナガの群れに遭遇したのは幸運でした。 (記　森本和子さん) 朝の冷え込みはやっと秋の気配となり、冬鳥の飛来を期待しながらの野鳥観察となりました。 セキレイ３種の違いや、似通ったユリカモメ、ウミネコ、セグロカモメの違いを確かめながらの観察でした。セグロセキレイが蛾を捕食する場面にも出くわし生態の知識を深めました。 (記　仲谷)
連絡事項	次回の甲山探鳥会は１１月２１日（木）道場です。初冬の小鳥達を観察予定です。 奮ってご参加ください。

観察出来た鳥達

ゴイサギ

面白い形相のアオサギ

蛾を捕捉したセグロセキレイ

ハクセキレイ

キセキレイ

ジョウビタキの雄

コゲラ

ムクドリ

魚をねらうミサゴ

カルガモ

ヒドリガモ

マガモ

ユリカモメ
（耳羽後に黒斑点）

セグロカモメ
（下嘴の先端に赤斑）

（撮影　仲谷）